

# 九州人工透析研究会誌創刊にあたって

大分大学腎泌尿器外科講座  
九州人工透析研究会前会長

三股浩光

九州人工透析研究会誌の発刊、おめでとうございます。九州大学包括的腎不全治療学講座の鶴屋和彦先生と宮崎大学血液・血管先端医療学講座の藤元昭一先生のご尽力により、このたび発刊に辿りつくことができ、お二人の先生方に深く感謝申し上げます。私が本研究会会長時代に論文集の発行を提案したことから、編集委員長の鶴屋先生より巻頭言を仰せつかりました。

本研究会は長崎大学泌尿器科教授の近藤厚先生と九州大学泌尿器科教授百瀬俊郎先生が世話人となり、昭和43年11月18日に長崎市にて第1回九州人工透析研究会が開催されたのが始まりで、同年に関東甲信越地区で発足した人工透析研究会（現在の日本透析医学会）に次ぐ長い歴史のある研究会です。本研究会は、人工透析に携わる人達が自由に話し合いのできる場を持つことが趣旨でしたので、長らく抄録集のみの発行にとどめておりました。しかし、現在の本研究会は、内科医や泌尿器科医、外科医、看護師、臨床工学技士、栄養士、薬剤師、医療事務などの多職種の医療人1500～1800人が参加し、血液透析をはじめ腹膜透析、腎移植、アフェレーシス、急性血液浄化と幅広い内容を討議しており、全国学会に匹敵する立派な内容が発表されています。

本研究会誌の発行により、九州はもとより、本邦の腎不全医療・血液浄化療法に寄与し、本研究会が益々発展することを祈念しております。多くの方が本研究会誌に論文として発表されますようお願い申し上げます。